

小松市埋蔵文化財調査だより

第11号 2001. 3. 30

小松市教育委員会

埋蔵文化財調査室

〒923-0801 石川県小松市園町ホ62番地

TEL (0761) 24-8132

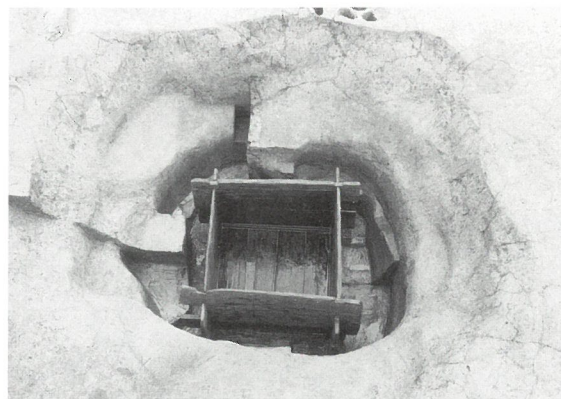
FAX (0761) 20-1194



せん だい い せき はっ かつ ちょう さ 千代オオキダ遺跡の発掘調査

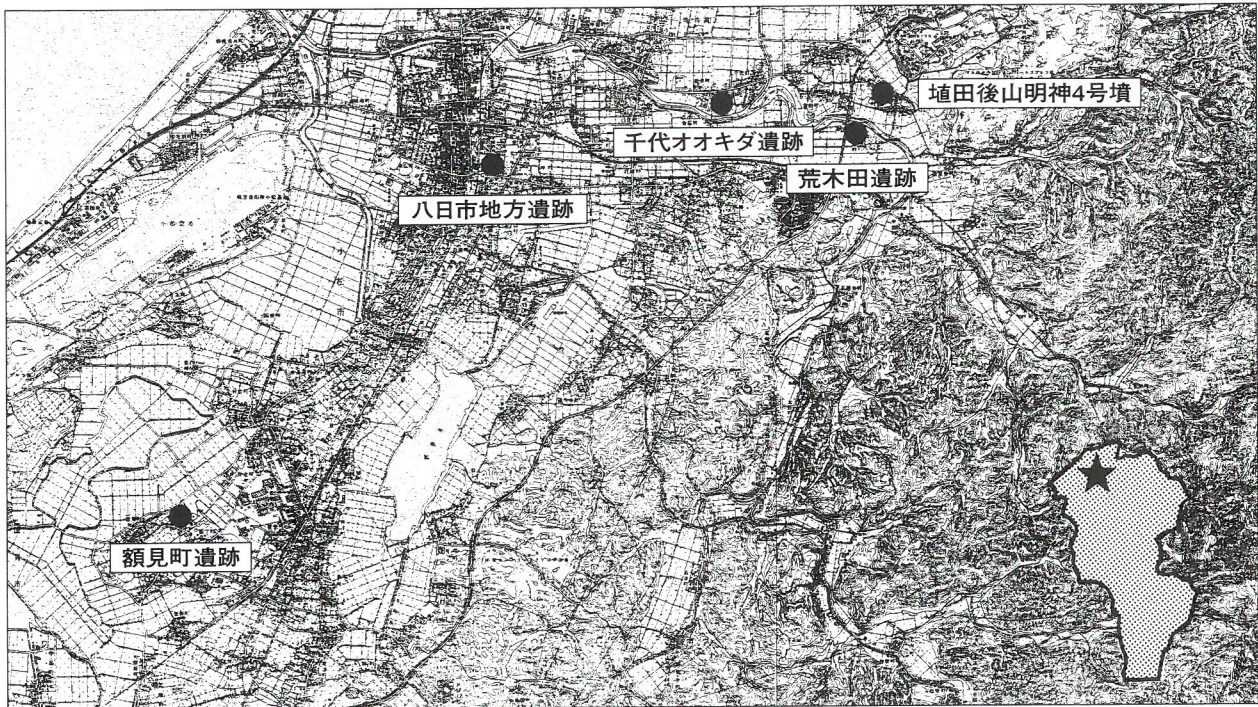
小松市内を流れる梯川流域の周辺は、古くから人々が生活を営んでおり、たくさんの集落遺跡が密集しています。千代オオキダ遺跡もその集落遺跡のひとつで、平成11年度から12年度にかけて、一般国道8号小松バイパス建設工事に係る発掘調査を行いました。その結果、弥生時代から中代・室町時代にかけての長期間にわたる複合遺跡であることが確認されました。特に平成12年度では8,500㎡を調査し、弥生時代末頃に流れていたと思われる幅10mを超える大溝が見つかりました。この大溝は前年度に調査した際に確認したものの続きで、ちょうど北西から南東にかけて流れていました。大溝からほぼ完形の土器が多量に捨てられていたらしく、多くの遺物が出土しています。

また、古墳時代初頭のものと考えられる方形周溝墓が2基見つかり、梯川周辺の遺跡からの発見としては貴重な例です。他に注目すべきものとして、「横板井籠組」の井戸があげられます。古代に属すると思われるこの井戸は井戸側の残りも良く、梯川対岸の佐々木遺跡でも同じ形態の井戸が発見されています。



横板井籠組の井戸

平成12年度の埋蔵文化財発掘調査



平成12年度小松市内埋蔵文化財発掘調査位置図 (S=1/100,000)

ぬか み まち い せ き

額見町遺跡の調査

所在地 小松市額見町地内

調査期間 平成12年4月12日～11月30日

調査面積 4,000㎡

原因 土地区画整理事業

遺跡の概要 額見町遺跡は月津台地上に営まれた大規模な集落遺跡です。オンドル状遺溝をもつ竪穴住居跡の発見や製鉄鍛冶炉などの発見から、渡来系の技術者集団が深く関わっていたと考えられています。今年度のH区の調査では、雨水を防ぐ覆屋をかけたと思われる、丸木舟を転用した井戸跡が見つかりました。およそ9世紀頃のものです。



丸木舟を転用した井戸（覆屋をかけたと思われる柱の跡が見える）

よう か い ち じ か た い せ き

八日市地方遺跡の調査

所在地 小松市日の出町地内

調査期間 平成12年3月1日～5月31日

調査面積 3,200㎡

原因 土地区画整理事業

遺跡の概要 八日市地方遺跡は、北陸における弥生時代中期を代表する中核的な集落です。今年度調査した20地区では、合計17基もの方形周溝墓が確認されました。また墓に供えられた土器（供献土器）も見つかっています。今回の調査区は集落の墓域にあたる所と考えられ、生活の場である居住区域とは意識的に別けていたことが窺われます。



20地区（今年度調査区）全景

せんだい いせき
千代オオキダ遺跡の調査

所在地 小松市千代町地内
調査期間 平成12年6月19日～8月9日
調査面積 330㎡
原因 自動車修理工場建設
遺跡の概要 千代オオキダ遺跡は梯川右岸の微高地上に立地しています。工場建設に伴う今回の調査では主に弥生時代の土坑2基、古墳時代初頭の大溝、奈良時代の土坑2基・溝跡9条などが、遺物は弥生～古墳時代の土器、奈良時代の土師器・須恵器、鎌倉時代の陶磁器などが見つかりました。

あらき だ いせき
荒木田遺跡の調査

所在地 小松市荒木田町地内
調査期間 平成12年5月10日～8月1日
調査面積 220㎡
原因 農業集落排水整備事業
遺跡の概要 荒木田遺跡は、梯川中流域左岸の低湿地に立地する、弥生時代から中世まで長期にわたって営まれた集落跡です。今回の調査では比較的狭い調査区内の全域が河川跡で、8世紀後半頃のものと考えられる杭を打ち込んだ堰跡、墨書土器「刀白」「厨長」など16点が確認されました。

はね だうしろやまみょうじん ごうふん
埴田後山明神4号墳の調査

所在地 小松市埴田町地内
調査期間 平成12年8月1日～8月11日
調査面積 20㎡
原因 畑耕作中の主体部発見
遺跡の概要 埴田町の東美智子さんが畑の耕作中に鉄刀・鉄斧・鉄鏃を発見し、急遽発掘調査を行いました。主体部は既に破壊されていましたが、その付近で臼玉群と刀子・櫛を発見、直径約19mの円墳と判断されることがわかりました。

なお、調査終了後には現地説明会を開催し、地元の方々に参加して頂くことができました。



現地説明会の様子

平成12年度 埋蔵文化財調査事業一覧

発掘調査	遺 跡 名	所在地	調 査 期 間		原 因		時 代	面 積
	千代オオキダ遺跡	千 代 町	5月22日～3月16日		小松バイパス建設工事 (国)		弥生～室町	8,500㎡
	額見町遺跡	額 見 町	4月20日～11月30日		土地区画整理事業 (市)		奈良・平安	4,000㎡
	八日市地方遺跡	日 の 出 町	3月1日～5月31日		土地区画整理事業 (市)		弥 生	3,200㎡
	荒木田遺跡	荒 木 田 町	5月10日～8月1日		農業集落排水施設建設 (市)		弥生～中世	220㎡
	埴田後山明神4号墳	埴 田 町	8月1日～8月11日		畑耕作中の主体部発見 (民)		古 墳	20㎡
	千代オオキダ遺跡	千 代 町	6月19日～8月9日		自動車修理工場建設 (民)		弥生～室町	330㎡
分布調査	開 発 行 為 名 称		所在地	開発面積	調査日	備 考		
	圃場整備事業 (市)		上 麦 口 町	53,000㎡	7月13, 27日	埋蔵文化財は確認されず		
	月津・矢田ニュータウン造成事業 (民)		月津町・矢田町	32,743.39㎡	8月22～29日 10月24日～2月28日	事業予定地は埋蔵文化財包蔵地内のため、詳細分布調査を実施		
	道路改良工事 (市)		矢 崎 町	768㎡	8月28日	埋蔵文化財は確認されず		
	共同住宅建築 (民)		島 町	450.81㎡	9月21日	埋蔵文化財は確認されず		
	道路改良工事 (市)		能 美 町	2,890.62㎡	10月16, 17日	一部に埋蔵文化財を確認、今後の協議にて対応を計る		
	工場建設 (民)		那 谷 町	10,000㎡	10月18日	埋蔵文化財は確認されず		
	店舗建設 (民)		園 町	1,992㎡	11月24日	埋蔵文化財は確認されず		
	事務所・倉庫ターミナル建設 (民)		御 館 町	4,687.25㎡	11月29日	埋蔵文化財を確認、今後の協議にて対応を計る		
	事務所・倉庫ターミナル建設 (民)		御 館 町	4,129㎡	12月7日	遺構・遺物の検出なく、遺物包含層のみ確認		
	給油タンク建設 (民)		御 館 町	130㎡	12月7日	埋蔵文化財は確認されず		
	結婚式場建設 (民)		白 江 町	3,949.44㎡	1月31日	埋蔵文化財は確認されず		

(市)は市営事業、(民)は民間事業を示す。

開催しました!

市制60周年記念事業 埋蔵文化財特別展

こまつ二万年の歩み



重要文化財・矢田野エジリ古墳出土の埴輪



森 浩一先生を迎えての記念講演会



「体験! 玉つくり工房」うまくできたかな?

平成12年(2000年)は小松市制60周年を迎え、そして新世紀を迎えるという佳節にあたりました。そこで今年度、小松の先人たちが築いた歴史と文化を振り返り、「小松のよさ」「小松らしさ」を再発見する機会にしたい、という思いから埋蔵文化財特別展「こまつ二万年の歩み」を開催しました。これは全国的に注目を集めた、国の重要文化財である矢田野エジリ古墳出土の埴輪をはじめとする小松市内の遺跡出土品を通史的に網羅して展示するという、初めての試みとなるものでした。

平成12年12月15日から平成13年1月21日までの約一ヵ月間、のべ1,500人をこえる多数の方々に来場・見学して頂くことができました。また12月17日には記念講演会として、著名な考古学者である森 浩一先生を迎え、小松市民センターに於いて「日本海・北陸・小松-考古学から高麗津を検証する-」と題して、小松の古代を国際的な視野でとらえた、興味深い講演をして頂きました。

なお、この会期中には、埋蔵文化財調査室職員による展示品の解説や、遺跡から出土する古代人のアクセサリである勾玉まがたまを実際に制作する「体験! 玉つくり工房」などの催しも行い、それぞれ好評を博しました。

たくさんの方々に小松の貴重な文化財やその歴史に触れて頂いたことは、大変に意義のあることであったと思います。今後も埋蔵文化財に対して関心を深めて頂けるよう、その保護啓蒙活動に努めてまいります。